

パネル発表

ウィズ・コロナ時代に寺院はどう向き合うか

# 持続可能な法務の提案 — 月参り・法事・葬儀の本質と変質 —

大阪教区 願生寺  
佛教大学 非常勤講師

大河内 大博  
okouchi.d@gmail.com

# コロナ以前からの変質（葬儀）

## 儀礼の簡素化

中陰の省略

1日葬

直送

## 規模の縮小化

家族葬

独葬

コスト削減

読者から「新型コロナウイルスの影響で葬儀事情はどうなっているのだろう」との声が届いた。投稿者は70歳代の男性で「当事者になった場合の準備を含めて知りたい」という。葬儀社は「3密（密閉、密集、密接）」を避ける対策を取り、新しい工夫も凝らす。故人との別れの場は大きく変わりつつある。

南日本新聞のご不幸広告には「葬儀告別式は昨今の状況に鑑みて家族のみで相済ませました」という案内が増えた。近年は家族葬など葬儀が簡素になる傾向が強かったが、コロナ禍で一気に加速している。



葬儀の様子を複数のカメラを使って伝えるウェブ中継＝鹿児島市の吉田葬祭

拡大

密閉された空間に一定時間、大人数が座る葬儀は「3密」の状況が生まれやすい。参列者には重症化が懸念される高齢者も多い。

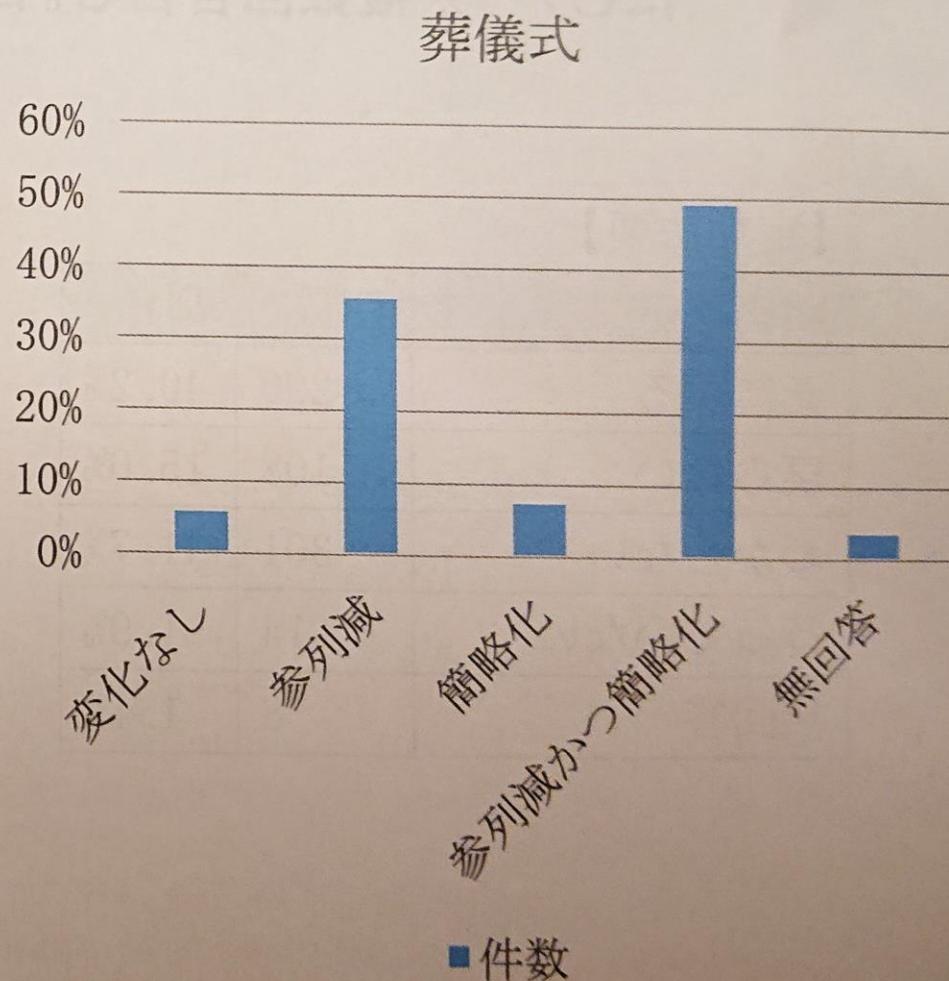
出水市の7葬儀社は4月、感染の広がっていた地域からの参列を、たとえ家族であっても自粛してもらうことを申し合わせた。当時とは状況が変わった現在も継続する。神田葬祭（同市）の神田保社長は「これまで大きなトラブルはない。感染拡大の防止という点で理解してもらっている」と話す。

### ■参列者制限、焼香のみ

全国葬祭業協同組合連合会は5月、葬儀運営のガイドラインを示した。（1）従来より広めの会場を使う（2）座席の間を空け、焼香の際も距離をとる（3）飲食物は大皿料理を避け、弁当にするなどが主な内容（表）。

## 【葬儀式】

回答	件数	割合
変化なし	40	5.5%
参列減	255	35.4%
簡略化	51	7.1%
参列減かつ簡略化	353	49.0%
無回答	24	3.3%



「和合」令和2年9月号  
新型コロナウイルスによる寺院収入への影響に関する調査

# 葬儀の本質 — 儀礼の機能 —

◆レイモンド・ファース（人類学者、1961年）

葬儀を行うことは「死者」のためだけではなく、「遺族」のために重要な機能を持っている

（J.ボウルビィ『母子関係の理論 III 対象喪失』，1981年，岩崎学術出版社）

**第1機能**：現実への直面化

→ 死の社会化

→ 悲しむことの期限付き妥当化

→ 社会的役割の明確化

**第2機能**：遺族の強い感情（悲しみ、怒りなど）を表現する

ことを地域社会やコミュニティが認める。情緒的行動の受容

**第3機能**：経済的機能の役割。香典や御供物などの金銭・物的支援と愛他主義の印

# 本質が簡素・縮小した社会

「死の社会化」が減退



悲嘆作業の個人化の加速



グリーフケアの必要性



# 新型コロナによる死別の複雑性

## 1. 突然死の別れ

面会・看護・看取りの剥奪

喪失の非現実感, 罪悪感の激化,  
他罰的欲求

## 2. あいまいな喪失

遺体との対面・通夜葬儀などの儀礼の剥奪

「死の現実化」の困難性  
「さよならのない別れ」

## 3. スティグマ

死者の尊厳・遺族の尊厳の剥奪

「社会的に話すことのできない死」  
(socially unspeakable death)



# 持続可能性を探る 小寺の取り組み

## ① 4月1日

「**新型コロナウイルス感染症流行に伴う月参り・法事の留意点につきまして Ver.1（4月1日現在）**」を作成

- 住職の感染症対策の明示
- 不安な場合は遠慮なく申し出て欲しい
- 緊急事態宣言が出た場合は、月参り（祥月を除く）中止

## ② 4月7日

「**新型コロナウイルス感染症「緊急事態宣言」発出にともなう法務について（お願い）**」を全檀家へ発送

- 祥月命日、法事以外は、全て中止
- 3密を避けた法事の提案（自宅から本堂への変更など）
- オンライン法要整備の報告

# 持続可能性を探る 小寺の取り組み

③ 4月14日

**「新型コロナウイルス感染症により死亡した檀信徒の寺院での葬送儀礼厳修ガイドライン」**を作成・公表

- 檀信徒で新型コロナで亡くなられた方が出た場合、本堂で通常の通夜・葬儀を実施するためのガイドライン
- 喪主家族が濃厚接触者となっているケースとそうでないケースの2パターンを作成
- 「中外日報」「文化時報」「月刊住職」に紹介される
- 浄土宗ホームページにも全文掲載中

# 持続可能性を探る 小寺の取り組み

④ 5月1日

**「Stay Home（法務）！おうちで写経をしよう！」**

→ 全檀家へ「般若心経」の写経を送付。檀信徒とのコミュニケーションを図る

⑤ 5月11日

NHK第1ラジオ「Nらじ」に電話出演。「新型コロナで死亡した人の葬送ガイドライン」について解説

→ YouTube「Nらじ 大河内大博」で検索

⑥ 6月1日

**「新しい生活様式のなかの月参り・法事」**のフライヤーを作成。

→ 全檀家へ送付

新しい生活様式の

# 月参り・ご法事

明るく、正しく、<sup>なか</sup>和よく

「うつらない」「うつさない」新しい生活様式のなか  
共に支え合う お念仏の生活を いとなみましよう

## 月参り・祥月参り・法事

 <p>お互いにマスクを 着用しましょう</p>	 <p>距離をとって、自分の耳に 聞こえる大きさで一緒に お念仏をお唱えしましょう</p>	
 <p>仏間の風通しを 良くしましょう</p>	 <p>お茶の接待は お気持ちだけ いただきます</p>	 <p>お互い別れた後は、 手洗い(消毒)・うがい をしましょう</p>

## リモート(遠隔)月参り・法事

ZoomまたはLINE電話などを活用して、リモート(遠隔)による「3密」・遠出を回避した月参り・法事ができます。

月参り	法事(本堂の場合)	法事(檀信徒様宅の場合)
人との接触にご不安があれば、本堂と各家仏間とをインターネットでつないで、ご一緒にお勤めいたします。	本堂に旗主家様にご参集いただき、その他ご親族の各家とインターネットでつないで、ご一緒にお勤めいたします。	旗主家仏間とその他ご親族の各家とインターネットでつないで、ご一緒にお勤めいたします。

## 代理墓前回向

毎月15日と30日、遠方等の理由でお墓参りができないお檀家様に代わり、供花と読経を致します。  
各3日前までにご連絡ください。

# 小寺の法務状況（6月以降）

月参り	ほぼ通常通り（数件休止）
法事	出席者減の中通常通り。本堂回向が微増
葬儀	近親者のみの家族葬が増加
棚経（8月）	例年の9割（1割は本堂での代参）
施餓鬼（8月）	分散参拝形式にし、例年の6割強 （春彼岸は例年の3割弱）

# まとめ

- ▶ 未知のウイルスのなか、「正しく恐れる」ための知識が蓄積されてきている中、「新しい生活」と共に、「工夫して戻れるもの」を模索することが大切
- ▶ 「死者の尊厳」「遺族の尊厳」の**最後の番人**と僧侶はなるべき
- ▶ 檀信徒への定期的なメッセージ発信が、安心感・信頼感に繋がる
- ▶ 高齢者や基礎疾患をお持ちの方との接触が多い寺院だけに、「中止」を持続してしまうと、再開の根拠を見失ってしまう。  
万全の対策と安心感・信頼感を持ってもらうためのこれまで以上の**きめ細やかなコミュニケーション**と**新たなアイデア**を創出することが求められている

**ご清聴ありがとうございました**

浄土宗 願生寺



さっとさんが